

# 大阪大学全学教育推進機構

## 平成 24 年度一年生後期クラス代表懇談会・事前アンケート集計結果（概要）

全回答数：63 件

※内訳 文 1, 法 5, 経済 3, 人科 1, 外 22, 理 5, 工 13, 基礎工 7, 医 4, 歯 1, 薬 1

(クラス数 文 3, 法 7, 経済 6, 人科 4, 外 29, 理 7, 工 20, 基礎工 10, 医 6, 歯 1, 薬 1)

### 授業外の学習支援について

質問 1：全学教育推進機構では、ガイダンス室にラーニングアドバイザー（Learning Advisor=LA）を配置し学習相談を行っています。また、総合図書館のラーニングcommonsでは、ティーチングアシスタント（Teaching Assistant=TA）が学習支援を担当しています。こうしたガイダンス室の LA や図書館ラーニングcommonsの TA に授業の質問や学習相談をできることを知っていますか？

・知っている 40 人 (63.5%)      ・知らない 22 人 (34.9%)      ・未回答 1 人 (1.6%)

質問 2：（質問 1 で「知っている」と答えた方へ）実際に TA や LA による学習相談を利用したことがありますか？利用したことがある方は相談内容を、利用したことがない方は利用しなかった理由についてお答え下さい。

・利用したことがある 6 人 (9.5%)      ・利用したことがない 37 人 (58.7%)      ・未回答 19 人 (30.2%)

#### 相談内容：

- 解析学 A の問題
- 理数科目の学習(数学・物理)
- TA：配架図書の検索
- レポートに必要な図書の探し方を教えてもらった
- 夏休みに短期留学が決まっていたが、英語慣れする方法が見つけれず困っていたから、日ごろの学習について相談した

#### 利用したことがない理由：

- 友達・先輩に聞けばだいたいわかるから（必要がないから） 9 名
- 相談することがない 8 名
- 機会がない（行く時間が十分に取れない） 4 名
- 申し込み方がいまいちわからない 3 名
- 面倒だから 2 名
- 必要な専門家が見つからない
- TA や LA がどんな人なのかわかりづらいから
- 何をきいたらいいのかわからない
- 図書館等での調べ物で対応できたため
- 普段はそれらがあることを忘れていたため
- 授業の質問は直接、先生にするし、学習相談することがなかったから
- 学習を深刻にとらえていないから
- TA の実力不足が時にはあるから
- 行きづらい

質問 3：図書館 TA やガイダンス室 LA など授業外での学習相談員に対して、また相談制度の運営に対して求めることや

望むことをお答え下さい。

- もう少し宣伝して欲しい 4名
- 学部ごとに TA がほしい (いるのかもしれないが、わからない)、増員してほしい 4名
- KOAN 等で定期的に知らせてほしい 2名
- 質問できる分野や内容の一覧が欲しい 2名
- 留学のための相談、就職関係、バイトと勉強の両立、時間の使い方を相談したい 2名
- ポスターの掲示だけではよく分からないし近づきたいので、教員からの説明や KOAN へのお知らせなどがあればよりよいと思う
- 教員から授業中に告知してほしい
- 相談制度をやるより、もっと設備等を強化してほしい
- 具体的にどのような相談を受けてくれるのかなどといった、より詳しい内容が書かれたポスターやチラシの配布などによって、もっと情報を得る機会が設けられると思います。

質問 4 : 大学初年次の学生に学習支援の一環として、ライティングやプレゼンテーションのようなアカデミック・スキル (学術的作法) の指導を体系的に行なうべきだという意見があります。実際に授業のレポート作成や報告の場などで困ったことがあれば、具体的にお答え下さい。

- レポートの段落構成が分からなかった。高校までではやらないことなので、この意見には賛成です 12名
- プレゼンの方法、作法についての知識に乏しく、困るときがあった 6名
- 良い/悪いプレゼンがいまいちわからないので、そういう講習の場がほしい 3名
- パワーポイント、ワードソフトなど、パソコンの使い方 3名
- レポートの作成方法を事前に授業の一部として教えてほしい 3名
- 参考文献の探し方、引用方法がいまいち分からなかった 2名
- 英語でレポートを書く際、どのように話をふくらませばよいかわからない 2名
- 出ただけで添削してもらえず、自分のレポートの良しあしが分からなかった 2名
- レポートの書き方に関して基本的な知識がないときに、課題を出されたので戸惑った 2名
- 先生の中には丁寧に教えてくださる方もいるが、そうでない人も多い 2名
- 情報科目で全体に対する指導をしてもらえたので、それを続けてもらいたい
- 入学時にマニュアル的なものを配ってもらえれば better だと思う
- 大学で初めて行うこと (例えばレポート作成) 等については強制的にセミナー等に参加させるべき
- レポート内容を上手く書く方法を知ることでもっとレポートの質をあげたいと思っている
- 当初、どのように書けばよいかまったくわからなかったし、今もあまりわかっていないと思う。
- 入学前に集中期間などを設けてした方がよいと思います。
- レポートのお手本が少ない、理想的なレポートの書き方がわからない
- ディスカッションのある授業を必修に
- だいたい人は自力で調べるだろう、時間をとられるのは嫌だ

質問 5 : 総合図書館では、全学教育推進機構と協力して「レポートの書き方講座」のなどのアカデミック・スキル入門イベントが年に数回行われています。このような取り組みは、さらに広げて行くべきだと思いますか？

- やってほしい 43 人 (68.3%)      • よくわからない 16 人 (25.4%)      • 必要ない 4 人 (6.3%)
- 未回答 0 人 (0%)

質問 6 : "阪大生の学習を支援するサイト Study AID-WEB (<http://www.study-aid.net>) " では、レポート作成時の参考のために、上述の「レポートの書き方講座」のテキストをダウンロードすることができますが、このことを知っていますか？

- 知っている 5 人 (7.9%)      • 知らない 56 人 (88.9%)      • 未回答 1 人 (1.6%)

質問 7：大阪大学の学生用にレポート作成の心構え、手順、形式、注意点などをまとめた簡便な手引きやマニュアルがあれば利用してみたいですか？

- ・利用したい 53人 (84.1%)      ・よくわからない 4人 (6.3%)      ・必要ない 4人 (6.3%)
- ・未回答 2人 (3.2%)

質問 8：大阪大学理学部では特に意欲のある学生を対象にして「理数オーナープログラム」を実施しています。これは、数学・物理学・化学・生物学などの分野で、教員の指導のもと、学生が自主的に問題を設定・研究するプログラムです。場合によっては研究に必要な資金も大学から学生に提供され、最後には学生が研究成果の発表会を行っています。このような自主的研究の場が全学的に広がるとよいと思いますか？

- ・全学的にやってほしい 46人 (73.0%)      ・よくわからない 12人 (19.0%)      ・必要ない 4人 (6.3%)
- ・未回答 1人 (1.6%)

質問 9：英語の TOEIC 公開テスト、TOEFL の試験を受けるための対策講座を開催すれば、単位に関係なくとも受講してみたいと思いますか？

- ・受講したい 40人 (63.5%)      ・よくわからない 8人 (12.7%)      ・興味がない 14人 (22.2%)
- ・未回答 0人 (0%)

(質問番号 10：欠落)

質問 11：TOEIC や TOEFL 以外にも、各種の資格を得るための試験がありますが、そのような試験対策の講座を開講すれば、単位に無関係でも参加してみたいと思いますか？

- ・参加したい 35人 (55.6%)      ・よくわからない 15人 (23.8%)      ・参加しない 12人 (19.0%)
- ・未回答 1人 (1.6%)

質問 12：前問 11 で、「参加したい」と答えた方は具体的にどのような資格試験の対策講座を希望しますか？

- 簿記 4名
- 公務員試験 3名
- 英検 3名
- 英語以外の外国語検定講座 3名
- TOEFL 2名
- TOEIC 2名
- 漢字検定 2名
- パソコン検定 2名
- TOEFLiBT (CBT ではない)
- 各外国語検定
- フランス語検定
- 公務員試験 (ただし、外部委託するならいらない)
- 国家総合職試験
- FP (ファイナンシャル・プランニング)
- MBA 習得のための入門講座

- 司法書士の資格対策
- 秘書検定
- MOS (Microsoft Office Specialist)
- 統計検定
- 世界遺産検定
- 行政書士
- 社会保険労務士
- 数学検定
- 色彩検定
- 自動車免許
- 電気技術
- 資格ではないが、就活の面接の練習

質問 13 : その他、授業以外の学習で、このようなことを企画して欲しいという希望があれば自由に意見を書いて下さい。

- 本格的な英会話レッスン 3名
- 学部でも超域のようなものを
- 企業セミナー等を1, 2回生向けにも開催してほしい
- 省庁に勤める人の1日のタイムスケジュールを、当方を招いて講演してほしい
- 学内施設の見学会、学習・研究を支援するPCソフト・データベース等の利用の講習会
- 大学院で行われている研究の見学
- (学部によってはすでにあるようだが) クラスでの合宿や研修、クラス単位での授業を行ってほしい
- 他学部の人と交流できる機会を設けてほしい
- 英語圏の人と交流する機会。TOEFLが正直いらなかった。
- 留学生(英語圏)の生徒ともっと気軽に接触できるような場が欲しい。イングリッシュカフェはとても良いとおもいます。マラソン大会、スポーツ大会
- ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー
- 学食など学内の様々な施設を使った学生の交流会
- 阪大坂の自転車が通れる時間を増やす、外国語学科を豊中キャンパスに移転
- 外国語学部全体を豊中キャンパスへ
- 工場見学
- 要望①警備員の一人が朝方、立ち寝をしていて危機管理上非常に問題がある②サイバーメディアセンターを土曜にも開放してほしい③バスの本数を増やしてほしい④留学生との交流の場をもっと増やし広告もしてほしい
- この欄に書くことではないですが一つあります。それは第2外国語の必要性です。もちろんこれを学ぶことをも大事だと思います。しかし、第2外国語が大変で専門科目を十分に勉強できていない。世界共通語の英語ですら十分に話せないのに第2外国語を学ぶ必要性を感じない。正直無意味です。
- サービス拡充するのはいいことだがあくまで大学なので中途半端に予備校のようなことをするのはよくない。最近、大学に消費者の原理を取り込もうとする学生が多いのだろうが、それにこたえるよりは間違っているという指摘をするべき。大学としては頑張っている人に支援をすればよく、文句だけいっちょまえな者は放っておけばいい(少々偏った意見だが)